

7/22 斎藤

# 宗教者ら抗議声明

## 強行採決「黙ってられない」

衆院での戦争法案の強行採決に、宗教者が相次いで抗議声明などを出しています。

「日本キリスト者平和の会」は19日、「戦争法案の強行採決に抗議し、廃案を求める声明」を発表。声明は

「(自民・公明)の両党に憲法前文と第9条を今一度しっかりと読み直すことを、そして

明」を発表しています。「もう黙ってはいられない、戦争法案に反対する宗教者の会」は17日、「『戦争法案』強行採決の暴挙に抗議し、廃案を求めます」を安倍首相はじめ、衆参の両院議長に送付。

『この憲法を尊重し擁護する義務を負う』(憲法99条) 為政者として誠実に履行することを求めます」として、強行採決に抗議し、廃案にむけて共同を広げるとしています。

「北海道キリスト者平和の会」は17日、「戦争法案の強行採決に抗議し、廃案を求める声

者は、どのような教えに立つとしても『人が殺し殺される』事を容認することはできません」として、法案の撤回・廃案を求めています。

浄土真宗本願寺派の「非戦を願う真宗門徒有志」が、安倍首相に対し、戦争法案を全て廃案にすることを求め